

会 議 録

□全部記録 ■要点記録

1 会議名	第7回 姫路市地域公共交通会議陸運分科会
2 開催日時	平成31年1月15日（火曜日） 10時00分～11時00分
3 開催場所	姫路市役所 北別館3階 研修室
4 出席者名	出席者 委員 岩田稔恵、岩野住之、大野幸一、奥西良行、重田一政、河内泰敏、隈田絹夫、島田初美、正司健一、竹内 宏、宅見晋一、當舎良章、中川吉郎、中澤秀明、山口正樹、山田賢一 以上16名（50音順 敬称略） オブザーバー 前羽利治、正垣あおい 事務局（交通計画室） 植田室長、福島主幹、菊本係長、荻山係長、谷口主任、大西技師、井上主事（高齢者支援課）久保係長
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人 2名
6 議題	(1) 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統）の事業評価について (2) 平成31年4月の路線バスのダイヤ改正について
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙参照

司 会	<p>ただ今より、「第7回姫路市地域公共交通会議 陸運分科会」を開催いたします。</p> <p>本分科会の開催には、「姫路市地域公共交通会議陸運分科会規約」第6条第2項の規定により、委員総数の半数以上の出席が必要とされております。</p> <p>本日は、委員17名中、半数以上の16名の出席を頂いておりますので、本会議が成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>また、会議は、本分科会規約第6条第4項の規定により、公開することとなっておりますので、ご了解頂きますようお願いいたします。</p> <p>【新委員紹介】</p> <p>【配布資料確認】</p>
司 会	<p>なお、会議の議長は、本分科会規約第6条第1項の規定により、議長であります姫路市都市局 隈田局長となります。</p> <p>それでは、本分科会規約第6条の規定により、以後の会議の進行につきまして、議長、よろしくをお願いいたします。</p>
議 長	<p>それでは、会議次第「3 審議事項」の「(1) 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統）の事業評価について」事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>【事務局説明】</p> <p>（議題1）</p> <p>「(1) 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統）の事業評価について」</p>
議 長	<p>ただ今、事務局より説明のありました議題1につきまして、何かご意見・ご質問はございませんか。</p>
委 員	<p>今後も両地域のコミュニティバスの運行を継続し、住民のニーズを聞く必要</p>

	<p>がある。様式1については、姫路市全体の地域公共交通の将来像を記入するものと思われる。提出先と相談して内容を検討してほしい。</p>
議 長	<p>他に何かご意見・ご質問はございませんか。</p> <p>無いようですので、議題1についてお諮りします。</p> <p>原案どおり承認してよろしいか。</p>
委 員	<p>異議なし</p>
議 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>議題1について、原案どおり承認といたします。</p> <p>次に、会議次第「3審議事項」の「(2)平成31年4月の路線バスのダイヤ改正について」事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>【事務局説明】</p> <p>(議題2)</p> <p>「(2)平成31年4月の路線バスのダイヤ改正について」</p>
議 長	<p>ただ今、事務局より説明のありました議題2につきまして、何かご意見・ご質問はございませんか。</p>
委 員	<p>とれとれ市場については、記載通り土日祝日のみの運行か。</p>
事 務 局	<p>現状では、土日祝日のみとなっている。</p>
委 員	<p>英賀保駅北口のバスのダイヤは、1時間に1本か2本になるのか。</p>
委 員	<p>英賀保駅については、10時と13時台の1日2本からスタートする予定であり、利用状況により今後考えていきたい。とれとれ市場については、姫路駅南口から9時55分発、11時55分発を予定しており、とれとれ市場で2時間程度滞在してもらい、姫路駅南口への帰りの便を計画している。</p>

委 員	<p>英賀保駅については、日赤病院方面への便となるのか。姫路駅から文化センター経由で英賀保駅に到着するバスは、以前1時間に1本しかなかったと思う。線路をはさんで西側にロータリーがあるのか。通常分はそのままか。通常の市民の足を考えずに日赤へ行くことだけを考えているのか。</p>
事 務 局	<p>英賀保駅北側の駅前ロータリーが11月に完成したことに伴い、北側路線のバスを一部延伸することになる。</p> <p>南側を運行しているバスについては、経路の変更は行わない。</p>
委 員	<p>既存路線の本数が少ないことは考慮に入れず、別途、病院へ行く路線を考慮に入れたということか。以前利用していた際は非常に不便であった。とれとれ市場については、平日も便があれば良いと思う。観光客がターゲットのようになっており、少し残念に思う。</p>
委 員	<p>英賀保駅の路線については、駅の北側から日赤病院を經由して英賀保駅の北側へ行くルートであり、駅南をルート変更するという改正ではない。とれとれ市場については、どれくらいの需要があるかわからないが、需要の高まりは期待される一方で、乗務員不足の問題はますます厳しさを増している。利用が一定数ある路線であっても、減便等の苦渋の決断を下さなければならない程の深刻な問題に発展している。まずは土日祝日のみからスタートさせたいと思う。</p>
議 長	<p>他に何かご意見・ご質問はございませんか。</p> <p>無いようですので、議題2についてお諮りします。</p> <p>原案どおり承認してよろしいか。</p>
委 員	<p>異議なし</p>
議 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>議題2について、原案どおり承認といたします。</p> <p>次に、会議次第「4報告事項」の「姫路市デマンド型乗合タクシー運行社会実験について」事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	<p>【事務局説明】</p> <p>(報告事項)</p> <p>「姫路市デマンド型乗合タクシー運行社会実験について」</p>
議長	<p>ただ今、事務局より説明のありました報告事項につきまして、何かご意見・ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>以前に香寺地域でデマンド型バス運行の計画があり運行したと思うが、定時運行では便利が悪いとの意見が多数あったと思う。その教訓を生かし、この計画をしたのか。</p>
事務局	<p>その通りである。定時定路運行では空車で走っている時間が長く、運行距離も長いと、乗りたい時間にバスが来ない、また乗っても時間がかかっていた。今回は小規模な利用を念頭に置き、ご希望の乗降所まである程度の時間は決まっているが、タクシーの車両を使って運行する。空車での運行をなくすことで、事業費を抑えて運行したいと考えている。</p>
委員	<p>乗合タクシーは使い方がわかりにくく、利用者の方に利用範囲をわかってもらうことが大変である。説明会では工夫して説明してほしい。車両自体にわかるような印をつけるのか。</p>
事務局	<p>説明会は12月から順次実施しており、資料にあるチラシの対象地域に全戸配布し、市の広報紙にも記事を掲載し広報活動を行っている。当初使い方がわかりにくいとの意見もあったが、説明を聞いてもらい良かったと言われた方もいた。運行が始まった後もわからないことがあれば説明に伺うと伝えており、今後も広報してまいりたい。</p> <p>車両の表示については、使用する車両に【乗合タクシー】という表示を貼り、利用者へ普通のタクシーではないとわかるようにする。</p>
委員	<p>ステッカーかマグネットボードか。</p>

事務局	<p>マグネットを車両の左右に貼る。また、車両の全面にも貸切と表示されているところを乗合と表示する。</p>
委員	<p>料金について、福崎町ルートが3,500円と他に比べ高いと思う。</p>
事務局	<p>確かに1人利用の場合は3,500円の料金設定で、他の料金に比べて割高になっている。福崎町まで近い地区になれば、一般の乗用タクシーの方が安い場合が考えられるが、当該地域は一般のタクシー事業者が運行しており、1人利用で安いタクシーを運行することは、民間事業者を圧迫する形となり問題となる。また、福崎町へ走るルートは、複数地区をまわるため、運行距離が長くなり、全体として約4,000円程度の運行事業費がかかる。その金額をベースとし、一般の乗用タクシーとの差別化を図り1人利用の金額を少し高く設定している。たくさん乗合することで、1人当たりの利用料金は段階的に下がるため、この形での利用を考えている。</p>
委員	<p>本格運行移行のための目標 1運行あたりの平均乗車人員 1.3人となっているが、この数字の根拠はあるのか。</p>
事務局	<p>【乗合】のため、できるだけ2人以上利用をしてほしいと考えており、本来は目標を2人以上と設定したかった。しかし1人利用も考えられるため、その点を考慮して1.3人と設定した。</p>
議長	<p>事前登録者数はどのぐらいか。</p>
事務局	<p>前之庄地域は現在62名、花田町高木地域は33名登録している。</p>
議長	<p>その方々にはすでに詳しい説明をしているか。</p>
事務局	<p>説明会に来て登録した方もあり、その他自治会を通じて説明を聞いた方もいる。</p>

委 員	<p>近隣の市町村では、たつの市のコミュニティバスが非常に先行していると思う。ヒアリングをして、今回のデマンド型乗合タクシーへ繋がっているのか。</p>
事 務 局	<p>たつの市は受付職員だけで複数名常駐し運営しており、事業規模は非常に大きい。一方、姫路市は、総合交通計画あるいは導入ガイドラインをベースに事業を進めており、他の空白地域への事業展開を考慮して、事業規模は継続的に続けていけるコンパクトな形で検討している。今後、たつの市の事例も含めて参考に事業を進めていきたい。</p>
委 員	<p>タクシーの場合、子供・大人は関係ないのか。子供も1人と数えるのか。</p>
事 務 局	<p>その通りである。</p>
委 員	<p>花田高木地域のチラシについて、神姫バスとの接続時刻表が記載されており、有り難く思う。今後も他の地域で検討する際は、バスとの役割分担や連携を視野に入れて考えてほしい。</p>
委 員	<p>乗合をしてもらうため料金に差をつけて利用を促すとのことだが、なかなか目的が無ければ利用は難しいと思う。1人のやむを得ない利用もあると思う。福崎町ルートについて、実際タクシーを利用した方が安い場合もあるとの話であった。受付はタクシー事業者が行うのであれば、そういった場合はタクシーを利用してくださいという案内をすることも適切である。そのような点も工夫してほしい。</p>
事 務 局	<p>事前にタクシー事業者と話をしている。現実的に近い地域の方が1人で利用する、2人利用が1人利用になってしまう場合等、今後の事業の中で考えていきたい。</p>
議 長	<p>他に何かご意見・ご質問はございませんか。</p> <p>無いようですので、報告事項は以上となります。</p> <p>次に、会議次第「5その他」となります。本日は、委員の皆様にお集まり頂</p>

<p>委 員</p>	<p>いておりますので、この際、何かご意見・ご質問等が有りましたら、ご発言をお願いします。</p> <p>自治会で色々と検討しており、香寺、夢前、安富地域については公共交通機関がほとんどなく、高齢化が進んでいる。病院や買い物へ行けない等、これからのこのような状況が進行していく。今回のようなテストケースを通じて、行政が辛抱できる範囲で負担を願ひ、地域が成り立つような交通手段を考えていくべきである。ここ数年が峠であり、田舎は人口減少が進むと思う。</p> <p>また昭和50年前後の好景気で造成を行い宅地化したところは、現在70歳や80歳代が大半を占めている。極論を言うと消滅地域と考えている。このような地域も事前に調査をし、交通空白地域は行政側で一定の配慮が必要である。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>交通空白地域の足の確保について、コミバスを運行し知見を得た上でガイドラインを設け、デマンド型乗合タクシーの社会実験を行っている。今回の社会実験においては、適切な料金設定かどうか等の検証を行い、ルートや送迎場所についても検証を行う。また、来年度以降、総合交通計画の見直しもある。一方、国土交通省では、道の駅を拠点とした自動運転ビジネスモデルの検討会等先端技術を活用した交通空白地域の対応について、現在中間取りまとめがされている。先端技術を総合交通計画には取り入れ、利用者・事業者・行政それぞれがうまくいくような地域公共交通の在り方を改めて見直していきたいと考えている。</p> <p>またニュータウンで高齢化が進んでおり、特に高低差がありなかなか足が確保しづらい住民については、導入ガイドラインに基づき、各自治会等に説明を行い、新たにデマンド型を導入できないか検討していきたい。</p>
<p>議 長</p>	<p>他に何かございますか。</p>
<p>委 員</p>	<p>先般より新たな乗車券を導入したため紹介したい。これまでは、紙券や IC カード等により乗車券を窓口で販売していたが、いつでもどこでも購入できるようにアプリを使ったサービスを開始した。クレジットカードを登録してもらい、クレジットカード決済できるもの。都市部では外国人も多いため英語対応してい</p>

	<p>る。使い方はアプリをダウンロードし、チケットを購入。乗務員に画面を見せるだけで乗車できるもので、料金は大人1,200円、子供600円としている。姫路市の観光地促進につながると思われる。</p>
委 員	<p>チャージの割引はできなくなるのか。</p>
委 員	<p>ICカードとは別のもので、スマートフォンを使うものである。</p>
委 員	<p>チャージを買って特典がついていたものは別と考えるのか。これも観光客をターゲットとしているのか。</p>
委 員	<p>別である。またメインは観光客をターゲットとしているものの、こちらに見合った利用形態の方があればどなたでも利用できる。</p>
事 務 局	<p>第39回EST創発セミナーin姫路についてチラシを配布している。第9回EST交通環境大賞において、公共交通を中心とした姫路市総合交通計画の取り組みが優秀賞を受賞した。皆様の参加をよろしく願いたい。</p>
議 長	<p>委員の皆様には、活発なご意見を賜り、ありがとうございました。 以上で、本日の会議を終了し、事務局に進行をお返しします。</p>
司 会	<p>委員の皆様におかれましては、熱心にご審議頂きまして、ありがとうございました。なお、本日の審議結果に基づきまして、必要な手続等を進めて参りたいと思います。 それでは、以上をもちまして第7回 姫路市地域公共交通会議 陸運分科会を終了とさせていただきます。 本日は、委員の皆様のご協力を持ちまして、円滑に会議を進行することができました。誠に、ありがとうございました。</p>